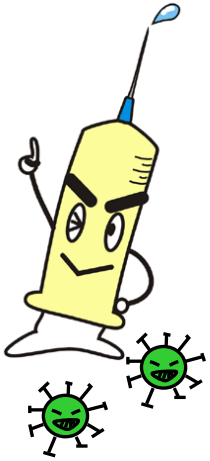


# 水痘(みずぼうそう)はワクチンで予防!



## どんな病気?

水痘(すいとう)ウイルスによる感染力の強い感染症です。

赤い小さな発疹が体にできて、水疱(水ぶくれ)になり、うみを持ち、最後はかさぶたに変化します。かゆみがひどく、痛むこともあります。

肺炎や脳炎などの重い合併症を起こしたり、免疫の弱い子供では命に関わる場合もあります。

このウイルスは一度感染すると体内に住みついて、後で免疫力が落ちた時に、帯状疱疹(たいじょうほうしん)の原因にもなります。

## 感染のしかたは?

咳や鼻水などのしぶきによる空気感染・飛沫(ひまつ)感染のほか、水疱やうみの中にあるウイルスで接触感染もします。潜伏期間は10~21日です。

## 学校や保育園は?

発疹の全部がかさぶたに変わるまで感染力があるので、全ての発疹がかさぶたになるまで、お休みしなければなりません。

## ワクチンを受けておくと?

水痘にかからないか、もし、かかっても軽くてすみ、水疱のあとも残りにくくなります。

## ワクチンを受けるには?

1歳から受けられます。(1歳未満の場合は、かかりつけ医に相談しましょう。)腕に1回接種します。効果を確実にするために、3か月たったら2回目を受けましょう。

定期接種として、年齢によっては無料で受けられます。かかりつけ医あるいは横浜市予防接種コールセンター(045-330-8561)にお尋ねください。

## 一緒に遊んだ子供が、かかっていたら?

ウイルスが体に入ってから3日以内にワクチンを接種すれば、症状が出ることを防げるか、かかっても軽くすることができます。かかりつけ医と相談しましょう。